

地域母子保健

地域母子保健 I

地域母子保健 II

科目名	地域母子保健 I		科目責任者	山本 智美
単位	1 単位 (30 時間)		開講期	通年
ディプロマポリシー	<input type="checkbox"/> 1 生命を尊重し、助産師としての倫理観と責任感をもち、対象と良好な人間関係を築くことができる。 <input type="checkbox"/> 2 女性のライフサイクル各期における性と生殖に関する健康・権利について理解し、助産実践に活用できる。 <input type="checkbox"/> 3 助産に必要な幅広い知識と技術を修得し、正常な妊産褥婦・新生児の診断について理解し、助産実践に活用できる。 <input type="checkbox"/> 4 知識・技術を統合して、予期せぬ場面や対象の状況に合わせた柔軟な思考をもって対応ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5 人々が住み慣れた地域で、どのような状況においても安心・安全に子どもを産み育てられる地域づくりに関わり、地域に貢献できる能力を養う。 <input checked="" type="checkbox"/> 6 専門職として常に自己の課題を見い出し、追及していくことができる。			
科目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに対応した国・都道府県・市町村が実施する母子保健事業の法的根拠を学ぶ。 ・母子保健事業を保健・医療・福祉関係者と連携・協働しながら母子を支援するための基礎的知識を習得し、助産師の役割を理解する。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域で助産師が展開する母子保健活動の意義を理解する。 2 地域母子保健の政策・施策を法律をふまえて理解する。 3 母子を取り巻く環境と、地域の特性や母子のニーズを知り、支援の方法を理解する。 4 地域での多職種連携の必要性と助産師の役割を考慮することができる。 5 周産期のメンタルヘルスと支援が説明できる。 			
講義計画	回数	講義内容		担当教師
	1	地域母子保健の基本 母子保健の動向と課題		山本智美
	2	地域母子保健行政の体系 (母子保健行政のしくみ・母子保健にかかわる制度・おもな母子保健施策)		
	3	地域母子保健活動の基盤 (連携・協働、助産師の役割)		
	4	訪問指導の実際		
	5	地域における助産師の活動		近藤亜美
	6	地域組織活動 (バディプロジェクト)		近藤亜美 瀧和子
	7	地域における障がいをもつ児と家族へのサポート		原との子
	8	静岡市の母子保健事業 (療養援護、感染症、予防接種事業等)		古荘勝浩 阿部勇治 酒井芸子
	9	静岡市の母子保健施策と静岡市の子育て支援施策 (乳幼児健康診査・母子健康手帳の交付・保健指導など)		鈴木美帆
	10	乳幼児健康診査グループワーク・ディスカッション・発表		山本智美
	11	母子関係の病理とその対応		戸田晋太郎
	12	児童虐待の実態と介入		
	13	周産期のメンタルヘルス		城向賢
	14			
15	周産期のメンタルヘルスとケア・グループワーク 筆記試験		池村さおり	
評価方法	筆記試験 (城向 20 点) 講義ごとの確認テスト (山本 10 点×3 回 30 点) グループワーク成果物・参加度 20 点 課題レポート (近藤 20 点) グループワークによる評価 (池村 10 点)			
指定図書	<ul style="list-style-type: none"> ・我部山キヨ子編：助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健、医学書院 (山本先生使用) ・我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期 医学書院 (城向先生・池村先生使用) 			

参考図書	
事前・事後 学習	地域における母子支援活動について、行政でも多くの支援を行っています。新聞・テレビ等の報道に関心をもって学びにつなげてください。
その他 (ICTの活用)	医学書院 e テキストを使用します。

科目名	地域母子保健Ⅱ		科目責任者	山本 智美
単位	1単位 (15時間)		開講期	後期
ディプロマポリシー	<input type="checkbox"/> 1 生命を尊重し、助産師としての倫理観と責任感をもち、対象と良好な人間関係を築くことができる。 <input type="checkbox"/> 2 女性のライフサイクル各期における性と生殖に関する健康・権利について理解し、助産実践に活用できる。 <input type="checkbox"/> 3 助産に必要な幅広い知識と技術を修得し、正常な妊産褥婦・新生児の診断について理解し、助産実践に活用できる。 <input type="checkbox"/> 4 知識・技術を統合して、予期せぬ場面や対象の状況に合わせた柔軟な思考をもって対応ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5 人々が住み慣れた地域で、どのような状況においても安心・安全に子どもを産み育てられる地域づくりに関わり、地域に貢献できる能力を養う。 <input checked="" type="checkbox"/> 6 専門職として常に自己の課題を見い出し、追及していくことができる。			
科目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイやグループワークを行い地域における母子への支援について学ぶ。 ・静岡市における母子保健活動の実際を知り、地域における子育て世代を包括的に支援する能力を養う。 ・国際母子保健活動について知り、国際的視野で母子を支える支援について学ぶ。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 母子訪問に必要な基礎知識・技術・態度を身につけることができる。 2 日本で住んでいる女性の健康問題と必要な支援が理解できる。 3 実習を通して在日外国人の支援について考えることができる。 4 地域と家庭をつなぐ子育て支援の活動の実際を理解し、助産師の役割を説明できる。 			
講義計画	回数	講義内容		担当教師
	1	乳幼児健康診査グループ討議		山本智美
	2	訪問指導ロールプレイ発表、リフレクション		
	3	里山クラブ（地域で暮らす母子・家族への支援活動）		永井綾
	4	国際母子保健		
	5	在日外国人の支援 在日外国人の情報収集と効果的コミュニケーションの取り方についてグループワーク・ディスカッション		山本智美
	6	子育て支援センター講義・見学・演習		坪内和美
	7			
8	グループワーク 地域母子支援		池村さおり	
評価方法	訪問指導案（山本 30点） 子育て支援の学びグループワーク・発表（池村 30点） 国際母子保健レポート（永井 20点） 在日外国人の支援グループワーク・発表（山本 20点）			
指定図書	・我部山キヨ子編：助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健、医学書院			
参考図書				
事前・事後学習	母子支援活動について見学・演習・グループワークやロールプレイを行い、実践力を身に付けてください。			
その他 (ICTの活用)	医学書院eテキストを使用します。			